

ふれあいだより

NPO 法人 たすけあいの会

ふれあいネットまつど

TEL: 346-0866 / FAX: 346-2068

愉しくなごやかに。会員定例会で新年会

1月28日(土)、新年会を兼ねた会員定例会が、ちばコープ新松戸店会議室で開催され、島田喜七代表はじめ会員27人が参加。移動困難な会員は送迎を行いました。定例会では佐久間浩子副代表が活動報告、石原順二理事より新しく始める「ふれあいの居場所づくり」の提案がありました(⇒2面に資料)。その後新年会に移り、参加者一人一人が今年の抱負を語り、なごやかに交流を行いました。



東日本大震災被災地東松島市支援「夢ハンカチ」キャンペーン

復興への夢をのせて走れ！仙石線 3/10に不通区間をハンカチでつなごう

ふれあいネットまつどでは、東日本大震災発災1年を期して行われる、「夢ハンカチ」キャンペーンに参加します。これは、不通となっているJR仙石線の日も早い復旧を願い、不通の区間1.5kmの間を復興への夢を描いたハンカチと人の手をつなぐ取組です。この「夢ハンカチ」(2枚セット)を1,000円で買い、ハンカチに復興への願いを書くことで、被災地

の皆さんと復興への思いを共有し、ハンカチ購入代金が、そのまま被災地への支援金となります。



※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

会員みなさんで創ろう!「ふれあいの居場所」

1月の「ふれあいだより」でお知らせしたように、事務所のある101・102号室に加えて103号室を借りて、会員・地域の人の愉しく、くつろげる「居場所」を作ります。「居場所」とはどのようなものか。1月定例会で説明・配布した資料を再掲します。理事会では「居場所」オープンに向けて会員みなさんの要望、ご意見を募集しています。また「居場所」に使用する101号室の名前も募集しています。

ふれあいの居場所ってなに

ふれあいネットまつどの会員や地域に暮らす人たちが集まり、ふれあうことで人と人がつながり、新しい関係をつくり、助け合うきっかけとなる場所です。基本的には、いつでも、だれでも、何をしてもいい自由なふれあいの場所です。

ふれあいの居場所はどうして必要

経済発展は競争社会を生み、全国的にどの地域でも、地域に暮らす住民同士の関係は希薄になりました。孤立や孤独による様々な問題が生じています。このような中、新たな人と人とのつながりを作るのには有効な場所です。

ふれあいの居場所からどんな効果が

人とひとがつながることで、気になる関係から助け合いの関係に、そして、仲間意識が芽生え自発的に行動する仲間が増えてくると信じます、引きこもりや孤独死の予防、介護予防、認知症の予防、障害者の支援、安全な松戸市を目指すなど、様々な効果を生み出せる場所です。

ふれあいの居場所で何ができるの

基本的には何をしてもいい場所です(と・言っても基本的なマナーやルールは決めておく必要はあると思いますが)みなさんで話し合い、したい

ことを出し合い、みなさんや地域の人たちが参加しながら作っていく場所です。趣味や特技を生かしたり、世代間交流の中で助け合ったり、自然なつながりから様々な活動が生まれ、それぞれの生きがいも生まれればなおさらいいのですが。

今後の話し合い

提案したい内容の一部

- 趣味を楽しむ(絵手紙、折り紙、習字や水彩画、パッチワーク、コーラス…)
- 学ぶ(介護 ABC、運転講習、出前講座、認知症勉強会、男の料理教室、パソコン…)
- 脳を鍛える(囲碁、将棋、麻雀…)
- 子育て支援(子供が自由に遊べる、お母さん同士の交流と悩み相談…人形劇団編成したい)
- ふれあい喫茶(お菓子や飲み物を用意します、自由な交流の場です)
- ゆうぐれ交流(夕暮れに開店、軽いアルコールを飲みながら人生を語る…)
- 健康ハイキング(朝からお散歩、体操や太極拳で元気交流…)
- 仲間をふやそう(ボランティア相談会開催…)
- 障害者専用日(情報交換など)

お知らせ

- 2月11日(土)はイエロレシートキャンペーンの日。イオン北小金店でお買い物、黄色のレシートをふれあいネットまつどのBOXへ。その1%が会に寄付されます。
- 市民活動見本市で、東日本大震災支援活動を広げるため、パラソル喫茶を開店します。(プレ見本市3/3(土)/松戸駅西口デッキ・本見本市3/10(土)/矢切サポセン)参加ご協力をお願いします。詳しいことはホームページをご覧ください。
- インフルエンザ警報が発令されました。うがい・手洗いの励行で感染予防しましょう。
- 1月活動分の謝金・給与支払は、2月24日(金)午後1時からです。